

2024年度会員の皆さまは **自動継続** です

11月中旬～ 「2025年度継続入会のお知らせ」**圧着ハガキ**を日本看護協会より順次お届けします。

- **会員情報** に変更が
- **口座情報** に変更が不備

ある

ない

2025年度会費納入で
お手続きは**完了**です



Web・スマホで申請

キャリアースから
お手続きが必要です

看護協会
キャリアース



- 会員情報 → 改姓・住所・勤務先の変更
- 会費納入方法 → 初年度クレジット決済未変更の方
- 口座情報不備 → 口座情報の変更

Web上でカンタンに変更できます

受付完了後
すぐに**反映**
されます

郵送でのお手続きを希望される場合は東京都看護協会に2025年度入会申込書をご請求ください。
退会手続きは東京都看護協会Webサイトにてご確認ください。

新規入会・再入会

お申込みはWebサイトから



- 入会手続き方法
- 会費納入について
- 会員特典 など

公益社団法人東京都看護協会 総務部 会員サービス係

お問い合わせ先 **Mail : nyukai@tna.or.jp TEL : 03-6300-5452** (会員サービス係直通)

〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝休日除く)

〈本冊子について〉

本冊子は東京都看護協会の令和5年度年次報告 (Annual Report) のダイジェスト版です。

東京都看護協会の強みを活かした取り組みをわかりやすくまとめました。ぜひご覧ください。

令和5年度(2023年度)年次報告はWebサイトで全ページをご覧ください。冊子PDF <https://www.tna.or.jp/kyokai/organization/annual/>

TNA Report 2023.04～2024.03

発行 令和6年 9月

公益社団法人東京都看護協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号

電話番号(代表) : 03-6300-0730

<https://www.tna.or.jp/>



本書の無断複写・転載を禁じます。

TNA Report

令和5年度

2023.04
-2024.03





TOKYO NURSING ASSOCIATION

平素より東京都看護協会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。令和6年1月の能登半島地震では、看護職をはじめとする多くの医療従事者が被災地で支援活動を行いました。活動された皆様に敬意を表しますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。そして看護職の活動をご支援いただいています皆様方に深く感謝を申し上げます。

令和5年度は、各都道府県が第8次保健医療計画を策定する年でありました。国は健康危機管理体制の強化を図るため「新興感染症等の拡大時における医療」を6事業目として追加をいたしました。また東京都では、大規模地震を含む自然災害への対応も喫緊の課題として備えを進めています。

看護職はどのような状況でも常にベストを尽くして活動をいたします。当協会は、これからも新たな役割を果たしていく看護職の専門性の向上と、社会の人々の健康に寄与する事業に取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月

公益社団法人東京都看護協会

会長

柳橋 礼子

公益社団法人東京都看護協会の基本理念

私たちは
看護の専門家として主体的に行動します
社会の仕組みづくりの変革者として活動します
人々の健康とQOLの向上に貢献します

公益社団法人東京都看護協会のシンボルマーク



「命と向き合うあなたを支えたい。」という看護職の思いを二つの人をモチーフとした形を組み合わせることによって表現しています。サポートする、ネットワークを創るというイメージを体現するとともに、看護の頭文字Kにも見えるようデザインしています。

01

社会・地域の看護ニーズへの対応・支援

1 地域で暮らす、すべての世代の健康を支える看護職の活動を支援

- ◆感染症収束後に向けた看護機能の強化のための事業促進と政策課題の整理
- ◆看護職の処遇改善に向けた看護管理者の取り組みへの支援
- ◆安全で安心な看護提供体制の確保を目的とした看護職のネットワークの強化

2 地域の健康危機管理体制の構築と地域包括ケアシステムの更なる推進

- ◆地域の健康と福祉の向上に寄与する地区支部活動と委員会の活動への支援
- ◆自然災害および感染症危機管理に備える体制と人材育成・BCP作成への支援

02

看護職の人材育成と質向上

専門職としてのキャリア継続と看護職のニーズを反映した生涯学習体制の構築

- ◆専門職としてのキャリア形成と継続的な学習プログラムの提供
- ◆東京都受託事業の成果の確認による効率的な運用
- ◆看護の質向上と人材育成に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)活用の検討
- ◆看護補助者の活用と多職種とのタスクシフト・タスクシェアに向けた支援

03

看護人材の確保

潜在看護職の就労促進と働きやすい職場環境改善への支援(プラザ事業)

- ◆人材確保対策のための情報発信と就業支援によりマッチング率を向上
- ◆看護職の職業人生の再考とプラチナナースが活躍できるための就業環境の整備
- ◆看護職と看護補助者の協働と人材確保に向けた取り組みの検討

04

組織の強化

職能団体として組織を強化し「看護の知の拠点」としての役割推進

- ◆会員ニーズを最優先とする事業展開と効率的な組織運営
- ◆会員・賛助会員の満足度を高め、会員数・賛同者の拡大と産業界との相互事業の推進
- ◆当会の看護ステーションの機能強化と事業拡大
- ◆看護の知の拠点として、地域・学生・若者層に魅力の発信



公益社団法人
東京都看護協会常務理事
横山孝子

公益社団法人
東京都看護協会会長
柳橋礼子

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立墨東病院
上野真弓 副院長・看護部長

一般社団法人
衛生文化協会城西病院
立石久留美 看護部長

東京都
看護協会

特別座談会

看護職のウェル・ビーイングの実現のために
「幸せな職場と看護職」について考える

令和6年1月、3年ぶりに参集形式で第57回看護研究学会が開催されました。

特別講演では慶応義塾大学大学院教授・ウェルビーイングリサーチセンター長の前野隆司先生が登壇し、「新たな時代のウェルビーイング」をテーマに語られました。

ウェルビーイング(Well-Being)とは身体的・精神的・社会的に良好で、満たされていることを表す言葉。

前野先生は日本におけるウェルビーイングや幸福学研究の第一人者で、

人生100年時代と言われる現代を幸せに生きるためにはどんなことが必要かを説いています。

参加者からの反響も多く、今回は講演の内容を振り返るとともに、看護職のウェルビーイングの実現に向けて話し合いました。

看護職はもっと「楽観的」でもいい

柳橋: 前野先生の講演を聴いてどのように思われたか、皆さんの感想をお話いただけますか。

立石: もともと私は楽観的で、何かあっても「なんとかなる」と考える性格なのですが、先生が提唱されている「幸せの4つの因子」*はとても身近で、自分がこれまでやってきたことが学問に裏付けられているとわかり、背中を押されたような気持ちになりました。

上野: 講演で最も印象に残っているのは、前野先生の「健康には気を遣うのに、なぜ幸せに気を遣わないのか」という言葉でした。質疑応答の際に、「看護部の運営方針にウェルビーイングを盛り込みます!」と宣言し、今まさにそれに取り組んでいるところです。

横山: 「幸せ」だと感じている人は離職率が低いなど、臨床の現場で感じていたものが裏付けされていることに感銘を受けました。私も楽観的で、行動しながら考えるタイプなのですが、先生のお話を聞いて自信が持てました。

「ウェルビーイング」であることが、
潜在能力を引き出す

柳橋: 上野さんは、「運営方針にウェルビーイングを取り入れる」と宣言されたとのことですが、どのような取り組みをされているかお話しいただけますか?

上野: 新しいことに挑戦する上で、職員にはいきいきとやりがいをもって働いてほしい。そして、そのためには一人一人が「ウェルビーイング」な状態であることも必要だという思いから、看護部の運営方針を「挑戦とウェルビーイング」としました。トップダウン方式ではなく、「幸せの4つの因子」を意識しながら仕事に取り組んでみてはと提案し、各部署がそれぞれのアイデアで導入しています。例えば、「やってみよう」因子だったら「小さなことでも新しい知識を得たら共有します」とか、「ありがとう」因子だったら「何かあるたびに感謝の言葉を伝え、シールを貼る」といった具合です。

看護職は「なんとかなる」よりも「なんとかしなくては」と考えがちで、ここが課題となっているようです。それでも、それぞれが楽しみながら取り組んでいる様子を見ると、「ウェル

ビーイングに取り組むと創造性や生産性が向上する」という効果はすでに出ているように感じます。この成果をお披露しようと、公開ディスカッションの場を設け、悩みの共有や意見交換を行いました。

立石: 当院は、研究発表会の形式を大きく変え、「各自で小さな業務改善に取り組み、年度末に発表し合おう」ということにしました。「研究」と言葉が付くと「やらされている」感が強くなりますよね。そうではなく、一人一人が普段感じている「やりづらさ」や「もう少しこうだったら」という点の改善も立派な「看護研究」になると伝え取り組んでもらっているところです。

柳橋: そうした新しい取り組みを始める際の仕掛けや工夫は?
立石: 今回のことに限らず、個々の取り組みに対しては、まずは信用してやってみてもらって、どんなものでも受け入れる心づもりで待っているという方針です。

上野: 当院も数年前から同じような方針です。毎年、看護部で細かく目標を立ててはいますが、スタッフには「すべてこれに沿ってやる必要はなく、自分たちがやりたいものに取り組んでください」と伝えていきます。

2つの大きな目標を決めて、あとはそれぞれのスタッフに対してそれを実現するための案をいくつか提案します。そのまま実行してもいいし、自分なりに方向性を決めてもいい。

立石: 時間や精神的に余裕がないスタッフもいる中で、「必ず目標を達成する」としてしまうと苦しくなります。人と比べる必要はないし、今の自分にできることをやればそれで十分だよ、と。方針を変えたことによる意外な効果も出ていて、報告会では誰に言われたわけでもなく資料をパワーポイントで作ってきたスタッフに、「そんな才能を隠していたなんて」と驚かされたこともありました(笑)。

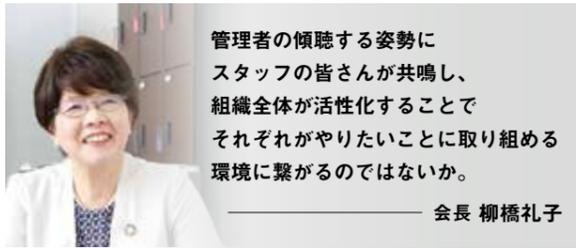
柳橋: 方針を変えたことで師長以外のスタッフからはどんな声がありますか?

上野: 以前は看護部から下りてきたBSCを元に師長や副師長で方針を決め、主任たちにKPIオーナーを振り分けるという形式でした。この方法では「やらされている」感が強く、スタッフには経緯がわかりません。そこで、関わる全員で考える機会を作ろうと、方針案を壁に貼り出して意見を求めるなどの工夫をしています。全員参加ができるようになったことで、個々のスタッフは「職場に貢献している」と実感できるようになったようです。ある主任から「マネジメントが楽しい」という言葉を聞いた時は嬉しかったですね。



子育て世代など時間や精神的に余裕がないスタッフもいる中で、「必ず目標を達成する」としてしまうと苦しくなる。今の自分にできることをやればそれで十分。
—— 城西病院 立石久留美 看護部長

- ※前野先生が提唱する「幸せの4つの因子」
- 「やってみよう」因子 (自己実現と成長の因子)
- 「ありがとう」因子 (つながりと感謝の因子)
- 「なんとかなる」因子 (前向きと楽観の因子)
- 「ありのままに」因子 (独立と自分らしさの因子)



管理者の傾聴する姿勢に
スタッフの皆さんが共鳴し、
組織全体が活性化することで
それぞれがやりたいことに取り組める
環境に繋がるのではないかと。

会長 柳橋礼子

看護職が幸せになると、組織全体が変わる

横山: 今のお話を聞きながら、看護職のウェルビーイングの向上が離職率の低下にも繋がるのではないかと感じました。

立石: 当院のように小さな病院にとって職員の確保・定着は死活問題です。比較的定着率は高いものの、産休・育休後の離職が課題でした。そこで、もう一度戻ってもらうために何が必要か、意見や要望を聞き、できそうなことから上申するなど改善した結果、子育て中のスタッフが戻ってきてくれるようになりました。

上野: 前野先生が、「ウェルビーイングを取り入れている企業は、お客様ではなく職員を大事にしている」とお話をされたように、トップがそれを打ち出して可視化することはとても重要だと感じます。

立石: 病院と一般企業では同じようにはできないと思っていたのですが、前野先生の本を読むと「幸せな会社」がやっている取り組みの中には、取り入れられそうなポイントがたくさんあります。例えば、「ワークライフバランス」について、前野先生はワクワクするような仕事だったら、バランスを取ろうとしなくていいと書かれています。「ワークでハッピー」という考え方に目からうろこが落ちました。

柳橋: 看護職のウェルビーイングの実現で、患者さんにはどのような影響があるのでしょうか。

立石: 経験上、職員がギスギスしている現場は仕事もおざなりだったり、患者さんに優しくできなかったり、逆に、コミュニケーションが取れている職場はクレームが少ないということを感じています。看護職が幸せになることで感謝の言葉をいただくことにつながり、さらにそれを共有することでよい循環が生まれるのではないかと感じます。

上野: ウェルビーイングを導入したことで、いくつかの病棟で

は電子カルテばかり診て患者さんにお尻を向けているのがいやだ、それを変えたいということで、看護方式の変更に挑戦しています。患者さん自身と向き合おうという取り組みによって、患者さんからのフィードバックも期待できますし、急変予測や転倒の減少などにも繋がると考えています。自分たちが幸せに気遣いながら実践した看護が、結果的に患者さんへのよりよいケアにつながるのではないのでしょうか。

看護職における「管理者」の役割とは

上野: もう一つ、職員同士のハラスメントの徹底排除も掲げています。これまでは「仕事ができるから仕方がない」と許されがちでしたが、それをやめて「それはハラスメントだ」と伝える。また、そうではないのに「ハラスメントだ!」と言う人にも丁寧に伝える。組織として、より楽しく働けるための人間関係、環境づくりに取り組むことで、さらに良い職場になると考えます。

立石: 前野先生は著書の中で「管理者は部活におけるマネージャーのような存在」と書かれています。病院でいえば、スタッフが働きやすい職場を作る役割ではないのでしょうか。スタッフが何を望んでいるかをよく聞き、前向きに取り組む姿勢を見せる一方で、スタッフ自身も自分が働きやすくなるためにできることはないかと考えてほしいと話しています。できるだけ長く働いてほしいですし、辞める時は発展的な理由であってほしいですね。

柳橋: 今のお話を聞いて感じたのは、管理者は傾聴する姿勢を見せることで、スタッフの皆さんが共鳴し、組織全体が活性化することで、それぞれがやりたいことに取り組める環境に繋がるのではないかと感じました。

上野: 当院の看護部長たちは、まさに「支援者」としてスタッフに関わっています。一人一人に寄り添い、「あなたにはこんな強みがあるから、伸ばしてみよう」など一緒にキャリアデザインについて話し合っているようです。

立石: 私は面接のときによく「あなたの良い所を3つ挙げてください」と言うのですが、1個で終わってしまう人、ひとつも思い浮かばない人がたくさんいるんですね。

遠慮もあるかもしれませんが、「あなたが自分の良い所に気

づけなければ、スタッフの良い所にも気づけない」と話します。そして、「良い所を見つけて伸ばしてあげる方が少ない労力で済むし、いい仕事をしてくれるはず。私はあなたの良い所をたくさん知っているよ」と伝えるんです。

すべての看護職が 幸せに働ける職場を目指して

柳橋: お2人は今後、どのような組織になってほしいと願っていますか?

上野: 私は墨東病院出身で、最高の病院だと思って働いてきました。部長になって戻って見たら、なんとなく雰囲気が変わっているように感じたので、この5年間、職員一人一人の魅力を最大限に生かして、倫理観とプライドを持っていきいきと働く、そして患者さんに信頼される看護の実践に取り組んできました。

今後はもっと主体的に、型にはまらず、新しい看護の形やサービスを提供したり、患者さんに対する接し方が変わっていったり、地域に貢献すると同時にエンゲージメントが上がればと思っています。

立石: 私は国立系の大病院を経て、初めて民間の病院で働いています。ギャップに戸惑ったこともありましたが、フットワークの軽さなど小さい病院ならではの良さがあることにも気づきました。当院では、理念として地域の患者さんに「かかって良かった」としてもらえ医療サービスの提供を掲げているのですが、職員同士も「一緒に働けて良かった」と思える環境にしたいと考えています。それが良い組織づくりにも繋がります。

みんなが幸せに働けるために、楽しいことをたくさん企画していきたいですね。

上野: 本当にそうですね。私もいつも「何か楽しいことをしよう」と話しています。

立石: この数年は交流の場が減り、スタッフ間のコミュニケーションが希薄になりました。そこで昨年、新しい試みとして、委員会の中で職場紹介の場を設けました。さらに今年は管理者メッセージ…といっても堅苦しいものではなく、自己紹介や趣味なども交えて話したところ、あちこちから声をかけられる

ようになりました。スタッフと雑談する機会が増えることで、何かあった時にも相談しやすくなりますよね。

上野: 確かに、職場のカンファレンスなどで集まっても雑談はできないですね。立石部長がおっしゃったように、雑談は人間関係を良くする上でとても大切だと思います。

柳橋: 看護職のウェルビーイング実現に向けて、看護協会にはどのような役割を期待されますか?

上野: 研修などを通して他施設の看護職と交流できるのは大きな魅力です。それによって自分の病院・病棟の良い所や悪い所が見えますし、得られた知見を持ち帰ることでスタッフ自身や病棟全体のレベルアップにも繋がります。子育て世代など同じ悩みを抱える看護職が集まって、ディスカッションする場などあれば面白そうですね。

立石: 他施設の現状に触れることで気づきがあり、その後の行動変容にも繋がりますよね。研修に参加したスタッフはみんな、刺激を受け、イキイキとした表情で帰ってきます。

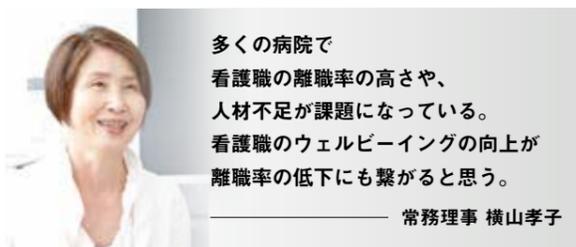
柳橋: 本日はありがとうございました。



令和6年度東京都看護学会へのお誘い

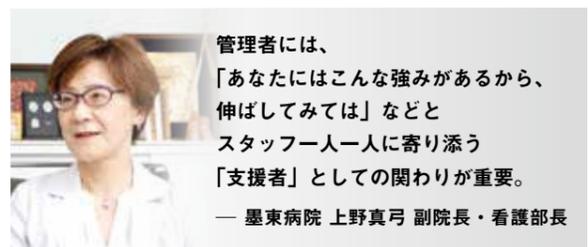
日時 令和7年1月18日(土) 9:30～16:30
会場 公益社団法人東京都看護協会 会館
テーマ 見つめなおす看護のちから
 ～つなぐ つながるそして未来へ～
特別講演 ワーク・エンゲイジメントの向上
 ～健康でイキイキ働くための職場づくり～(予定)
参加申込 令和6年11月30日(土) 締切
 定員300名

6年度の学会でも引き続き
「働きやすい職場」をテーマに
講演があります。
ぜひご参加ください。



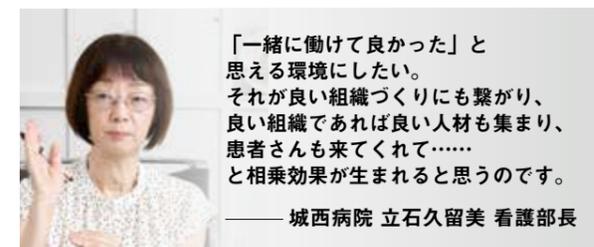
多くの病院で
看護職の離職率の高さや、
人材不足が課題になっている。
看護職のウェルビーイングの向上が
離職率の低下にも繋がると思う。

常務理事 横山孝子



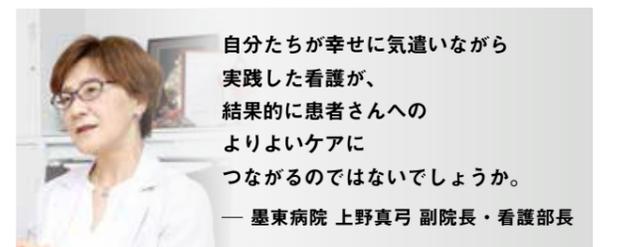
管理者には、
「あなたにはこんな強みがあるから、
伸ばしてみよう」などと
スタッフ一人一人に寄り添う
「支援者」としての関わりが重要。

墨東病院 上野真弓 副院長・看護部長



「一緒に働けて良かった」と
思える環境にしたい。
それが良い組織づくりにも繋がります。
良い組織であれば良い人材も集まり、
患者さんも来てくれて……
と相乗効果が生まれると思うのです。

城西病院 立石久留美 看護部長

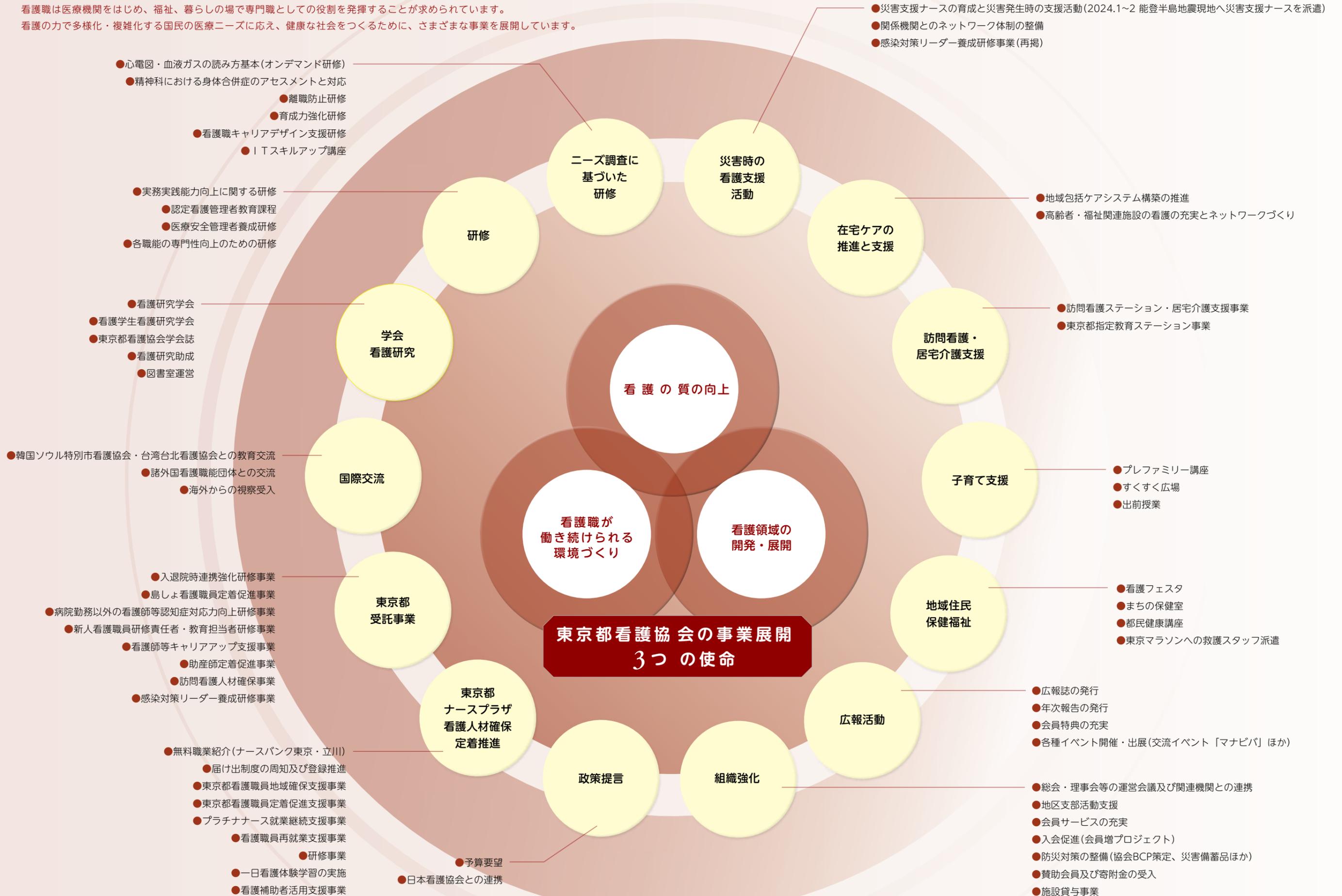


自分たちが幸せに気遣いながら
実践した看護が、
結果的に患者さんへの
よりよいケアに
つながるのではないのでしょうか。

墨東病院 上野真弓 副院長・看護部長

東京都看護協会の主な事業展開

東京都看護協会は看護を取り巻く課題を組織の力で解決し、看護を発展させ、社会に貢献します。
 看護職は医療機関をはじめ、福祉、暮らしの場で専門職としての役割を発揮することが求められています。
 看護の力で多様化・複雑化する国民の医療ニーズに応え、健康な社会をつくるために、さまざまな事業を展開しています。





研修・交流会・イベント事業

- 実務実践能力の向上に関する研修 …… **91** 研修 / 総受講者数 **2,078** 名
- 認定看護管理者教育課程 …… 総受講者数 **302** 名
- 医療安全管理者養成研修 …… 総受講者数 **358** 名
- 看護補助者活用推進のための看護管理者研修 …… 総受講者数 **422** 名
- 地域包括支援センター保健師・看護師交流会 あつまれ地域包括の輪 …… 受講者数 **73** 名
- 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント
「地域で働く保健師の魅力～自治体保健師に聞いてみよう」 …… 総受講者数 **99** 名
- 助産師のネットワーク強化のための情報交換会「コネミドTOKYO」開始



ニーズ調査に基づいた新規研修

- 心電図の読み方基本 総受講者数 **174** 名
(オンデマンド開催)
- 血液ガスの読み方基本 総受講者数 **143** 名
(オンデマンド開催)
- 離職防止研修 …… 受講者数 **67** 名
- 看護職キャリアデザイン支援研修
看護職人生の組み立て方 受講者数 **28** 名
- 令和4年度のニーズ調査に基づき、7つの新規研修を企画。今後もアンケートや施設訪問などを踏まえて機動的に事業を展開していきます。
- 育成力強化研修 …… 受講者数 **99** 名
- 精神科における身体合併症のアセスメントと対応 …… 受講者数 **42** 名
- ITスキルアップ講座 …… 受講者数 **7** 名



学会

- 看護研究学会 …… 参加者数 **306** 名
- 看護学生看護研究学会 (オンデマンド開催) …… 参加者数 **1,747** 名

3年ぶりの集合開催。インフォメーション・エクスチェンジなど新たな取り組みも。



災害支援ナース

- 令和6年能登半島地震への災害支援ナース派遣
1月12日～2月23日 …… **13** 班 **48** 名
- 災害支援ナース養成研修 …… 総受講者数 **142** 名



東京都ナースプラザ事業

- 再就業支援 …… 求職登録者数 **4,004** 名
(月平均)
- ふれあいナースバンク・看護のお仕事応援フェア …… 総参加者数 **782** 名
- 1日看護体験学習 高校3年生対象 …… 総参加者数 **532** 名
- 1日看護体験学習 高校生・中学生・社会人対象 …… 総参加者数 **806** 名
- とどけるん(看護職離職時等の届出制度) …… 新規登録者数 **1,390** 名



訪問看護・居宅介護支援事業

城北看護ステーション

- 訪問看護事業 …… 総訪問件数 **9,001** 件
- 居宅介護支援事業 …… 延べケアプラン件数 **442** 件
- 教育ステーション研修 …… 総参加者数 **171** 名

延べ訪問回数が過去最高となるなど、事業所の統合効果により、2年目にして黒字転換を果たしました。



地域住民向け事業

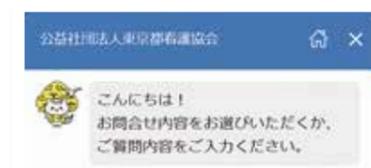
- プレファミリー講座 …… 参加者数 **111** 組
- すくすく広場 …… 参加者数 **22** 組
- 出前事業 …… 総参加者数 **385** 名
- 看護フェスタ [集合開催]
参加団体数 **21** 団体 一般参加者数 **215** 名
- まちの保健室 …… 総参加者数 **310** 名

4年ぶりの集合開催となりました。会場には等身大?のリアルかんごちゃんが登場。会場を盛り上げました。



情報発信等

- マナビバ(看護職仲間づくり応援イベント) …… 参加者数 **44** 名
- エンゼルケア、勉強法、コミュニケーションスキルなどの講座や仲間との交流イベントを開催しました。
- TNA Nurse AD (有益な最新情報の館内展示)
- 看護研究学会特設サイト作成
- AIチャットボット 運用開始
- 医学会総会博覧会 看護師体験とワークショップ協力



令和5年度・寄附者・賛助会員御芳名

公益社団法人東京都看護協会へお寄せいただきました令和5年度の寄附は、教育・研究活動の支援、看護職確保定着等の公益事業充実のために活用しております。
ご寄付賜りました方々への感謝の意を込め、公開のご承諾をいただいた方についてご紹介いたします。

一般寄附金寄贈者【個人】

*

飛永 湖陽 様
堀田 芳生 様

一般寄附金寄贈者【法人】

*

株式会社ジンテック 様
東洋羽毛首都圏販売株式会社 様
株式会社オンワードコーポレートデザイン 様
中ノ郷信用組合 様

医療用物資等寄贈者【法人】

*

公益財団法人東京都歴史文化財団 様
東洋羽毛首都圏販売株式会社 東京営業所 様

賛助会員

*

東洋羽毛首都圏販売株式会社 様
ピジョン株式会社 様
株式会社山菊 様
大成祭典株式会社 様
株式会社トータル保険サービス 様
フォーク株式会社 様
日本光電工業株式会社東京支社 様
一般社団法人日本動物看護職協会 様
テルモ株式会社 様
株式会社キューネットワークス 様
アイホン株式会社 様
一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会 様
株式会社インターメディカ 様
株式会社日本ケアコミュニケーションズ 様
一般社団法人東京都日本病院会支部 様
一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 様
ニプロ株式会社東京第一支店 様
株式会社学研メディカルサポート 様
公益社団法人東京都助産師会 様
サクラグローバルホールディング株式会社 様
株式会社シーエイチシー 様
株式会社トップ 様
和洋女子大学 様
シーホネンス株式会社 様
損害保険ジャパン株式会社 様
医療法人社団東京医心会ニューハート・ワタナベ国際病院 様
アルケア株式会社 様
日本防災合同会社 様

(順不同)

名誉会員

坂本 すが 東京医療保健大学 副学長

昭和51年関東通信病院(現 NTT 東日本関東病院)に入職。平成9年から9年間看護部長を務め、同病院の新病院設立に際し看護の標準化システムの開発を行い、看護業務の効率化、情報の一元管理による多職種連携、情報共有を促進しました。また、東京医療保健大学の設立に向け尽力し、看護学部をはじめ医療を支える専門職養成学部・学科を擁する医療系大学として発展させ、現在は副学長として多くの卒業生輩出に寄与しています。

平成20年から2年間当協会副会長として会長を補佐するとともに、同年東京で開催の第13回日本看護サミット東京で企画委員として尽力しました。

平成23年6月から平成29年6月まで日本看護協会会長を務め、様々な看護政策などを提言し、実現に向けた事業の推進と法制化に向け尽力、令和4年6月には日本看護協会名誉会員として承認されるなど、看護業務における顕著な功績に鑑み、名誉会員として適任と判断しました。

令和5年度 東京都看護協会長賞受賞者

公益社団法人東京都看護協会 協会長表彰規程第3条の該当者

- 通算20年以上会員で、本会への功労が認められた者
- 本会の役員2期以上、委員3期以上従事した者
- 看護業務及び研究、教育に20年以上従事し、功績があったと認められる者

佐野 廣子	副会長	大坪 裕子	看護学生学会ワーキンググループ委員
渡邊 千香子	専務理事	佐々木 陽子	看護学生学会ワーキンググループ委員
中野 博美	看護師職能理事	大西 潤子	認定看護管理者教育課程・ 教育運営委員会委員
相良 裕美	保健師職能委員会委員	中山 裕子	広報委員会委員
安藤 美香	助産師職能委員会委員	関口 和子	広報委員会委員
町田 あかね	看護師職能委員会委員(領域I)	川合 美穂子	西部地区 副支部長・会計
土師 菜緒子	医療安全委員会委員	菱沼 啓子	多摩北地区 教育委員・監事
佐藤 香理奈	感染対策委員会委員	長谷部 美津代	地域包括ケア委員会副委員長・災害対策委員会委員 多摩南地区 副支部長・教育委員
西川 美由紀	感染対策委員会委員		
黒澤 和子	災害対策委員会委員		
小島 昌人	教育委員会委員		

令和5年度 各賞受賞者

春の叙勲	瑞宝双光章	石嶋 みやこ	公益社団法人日本看護協会長表彰	縣 智香子
	瑞宝双光章	岡田 悦子	令和5年6月7日	石森 陽子
	瑞宝単光章	長田 恵子		田地 直子
	瑞宝単光章	星 恵子		田村 清美
				野月 千春
秋の叙勲	瑞宝単光章	澤田 法子		廣川 秀一
				藤岡 和子
				前多 香